

2023年3月20日

タイ・バンコク都との友好提携 15 周年～新たな取組へ～

バンコク事務所長 堀田 高広

1. 友好提携 15 周年を迎えて

福岡県とタイ・バンコク都との友好提携は 2021 年に 15 周年の節目を迎えた。これを記念して、本年 1 月、服部知事、井上県議会副議長をはじめとする訪問団がバンコク都を訪問し、チャチャート都知事、ウィラット都議会議長を表敬するとともに、両知事は、未来の経済発展や社会変革に貢献するアントレプレナーシップ¹を持つ人材の育成に取り組むことを盛り込んだ新たな覚書を取り交わした（写真）。また、昨年は日本とタイの外交関係樹立から 135 周年に当たり、当事務所も出展した「JAPAN REMIX2022」²をはじめ多くの「日タイ修好 135 周年記念認定事業」が行われた。コロナ禍においても、昨年のタイへの直接投資額³は日本が首位を維持する⁴等、日本とタイは引き続き強固な関係を維持しており、本県とバンコク都の友好協力関係も両国の良好な関係を地方から支えている。



（写真）覚書調印式の様子

2. 各分野で広がる交流

これまで本県は、青少年・環境・高齢者施策等、様々な分野でバンコク都との交流を重ねてきた。

青少年分野では、高校生を相互派遣し、お互いの高校訪問やホームステイ等を通じて、参加者の国際理解を深めるプログラムを実施し⁵、参加したバンコク都の高校生の中には、大学進学後、国費留学生として訪日した学生もいる。

環境分野では、バンコク都から行政官を受け入れ、公害克服の取組や環境技術等に関する研修等を行っており、本県で研修を受けた行政官がバンコク都環境局の幹部として廃棄物処理の分野等で活躍している。

そして、高齢者施策分野では、住民主体の運動を通じて高齢者の運動機能や

¹ 新しい事業を創造しリスクに挑戦する姿勢、イノベーションをもたらす新しい価値を生み出す思考・行動要素 出展：「NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター」

² 福岡県バンコク事務所「日本・福岡のタイ人観光客受け入れ再開に向けた当事務所の取組と展望」

³ 認可ベース

⁴ JETRO ビジネス短信「2022 年の外国直接投資、認可ベースで日本が首位維持」

⁵ 2019 年度までに延べ 85 人の県内高校生を派遣し、189 人のバンコク都高校生を受入れている。

認知機能維持・向上を図る「バンコク都における介護予防推進プロジェクト⁶」を2017年から実施し、3年間で237名の指導者を養成した。バンコク都関係者によると、本プロジェクト参加者の78%に身体機能の向上がみられ、バンコク都は事業終了後も都内全域に拡大して活動を継続している⁷。

3. 新たな取組

このように本県とバンコク都は多様な分野で交流を積み重ねてきたが、これまで両地域が紡いできた絆をさらに強め、少子高齢化⁸や経済成長率の鈍化⁹、洪水対策といった互いに共通する課題へ協力して取り組んでいくためにも、この度、両知事は、新たな覚書を交わし、未来の経済発展や社会変革に貢献する人材の育成に合意したところである。

デジタル技術の発展により目まぐるしく変化している社会においては、課題を的確に把握し、自ら解決策を考え、未来を主体的に創造できる人材の育成が必要とされる。これまでも青少年交流を実施してきたところであるが、今後は青少年に限らず、あらゆる世代が互いに切磋琢磨しながら交流し、友好関係を深めることにより、両地域の発展に貢献していくことが期待されている。

こうした新たな取組においては、交流事業に協力いただける産官学とのネットワーク構築が重要となる。例えば、700名を超える会員数を有する「タイ国福岡県人会」や、福岡県の元留学生で構成される「タイ福岡OB会」にはタイの第一線で活躍する会員が多数在籍しており、当事務所が両会の事務局を担っている。こうしたネットワークを活用して、交流事業の参加者へ県人会・OB会会員の所属組織での研修を通じたアントレプレナーシップを体感できる機会を提供することが事業の成功につながると考える。

4. 友好協力関係の更なる強化へ向けて

タイはASEANにおいて中核的役割を担っており、中でも首都バンコクは国際都市としてのポテンシャルも高いことから¹⁰、バンコク都との交流の深化は、アジアのゲートウェイとしての役割を目指す本県の発展に直結すると考える。

当事務所としては、「タイ国福岡県人会」や「タイ福岡OB会」をはじめとした事務所独自のネットワークの拡大、活用を通じ、交流事業を側面から支援することで、バンコク都との友好協力関係の更なる強化に貢献していきたい。

⁶ JICAの「草の根技術協力事業」を活用。

⁷ バンコク都は、事業終了後から現在まで630名の指導者、2,070名の住民リーダーを養成している。

⁸ タイの2021年時点における65歳以上の人口の割合は14.5%（日本29.8%）

出展：国連「世界人口推計2022年改訂版」

⁹ JETROビジネス短信「2022年の実質GDP成長率は2.6%、2023年は2.7～3.7%の見通し」

¹⁰ Resonance Consultancy「世界のベスト100都市2023」において、バンコクは30位（ASEANではシンガポールに次いで2位）にランクインしている。福岡は81位。